

## 松が谷高校の生徒の皆さんへ 一校長メッセージ（14）

### 令和三年度 第四十一回 東京都立松が谷高等学校 入学式式辞

校庭の木々の芽もやわらかな緑に包まれる季節となりました。春の風が、花の匂いや鳥のさえずりを学校に運んでくれる今日の佳き日、令和三年度東京都立松が谷高等学校第四十一回入学式を挙げていただけますことを、心より嬉しく思います。本校を代表し、深く感謝申し上げます。御多用の中、ご臨席いただきました保護者の皆様、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中ではありますが、皆様との連携・協力を大切にしながら、教育活動を続けていくことが一層必要であると考えています。

松が谷高校の制服を着て本校の校門をくぐった第四十一期生となる新入生の皆さん、入学おめでとうございます。松が谷高校は、皆さんを心から歓迎いたします。

本校は、昭和五十六年に普通科高等学校として開校し、平成二年度から外国語コースを二学級設置し、平成二十八年度からは東京都の英語教育推進校に指定されるなど、特色ある教育課程のもと、基礎学力の定着とともに学力の伸長を図り、生徒の進路希望の実現に全力で取り組んでいる学校です。また広い校地と恵まれた施設や自然環境を活かし、部活動や学校行事が盛んで元気あふれる生徒の笑顔が美しい、今年度創立四十一年目を迎える学校です。

本校の教育目標における「建学の精神」の一つに、「人を思いやり、ひとのために尽くす人」という言葉があります。また本校の「目指す学校」として、「自分の大切さとともに他の人の心をも大切に作る気持ちを育む学校」という言葉があります。何か共通するイメージがありませんか。そうです。「他の人の心を大切に作る思いやりの気持ち」というキーワードが本校の目指す学校像であり、生徒像なのです。

さて、こうした本校の目指す姿を踏まえて、これから新しい生活を始める皆さんに私から贈るメッセージがあります。それは「感謝の気持ち」についてです。

皆さんは「実るほど頭（こうべ）を垂れる稲穂かな」ということわざを聞いたことがありますか。私たちが毎日食べている米は、稲が育って実をつけたものです。一般的に米は、春に苗代（なえしろ）に種もみをまき、梅雨のころ、田に植えかえます。そして秋の初めに花が咲き、十月頃に実り、稲刈りをして収穫します。このように稲は農家の人たちが一年間、時間と手間をかけて育てて成長し、身がしっかりと詰まった稲穂になります。ですから、稲刈りをする頃の稲穂はとても重くなり、頭を垂らしたようになっています。このことから、稲は実れば実るほど稲穂が頭を垂らしたように見える光景を伝えたのが、この言葉です。この稲穂の様子から、学問や人格が高い人ほど、相手に対して態度が謙虚になり、感謝の心を大切に作る、という意味です。

ところで、皆さんは、「ホンダ」というオートバイや自動車などを作っている会社を知っていますね。日本を代表するこの世界的な企業「ホンダ」という会社を創業したのが本田宗一郎という静岡県出身の人です。本田さんは高等小学校卒業後、一生懸命に働いて努力を続け、本田技研工業という会社を作りました。そこでオートバイを研究し、世界中の人が憧れる、素晴らしいオートバイを開発・製造しました。そのホンダの創業者、本田宗一郎さんが次の言葉を残しています。「学問なり技術があるということは立派なことには違いないが、それを人間のために有効に使う初めて、優れた人間だということができるのだと思う。何よりも大切なのは人を愛する心ではないだろうか」というものです。皆さんは、この言葉を聞いてどう思いますか。本田宗一郎さんは長年にわたり多くの研究や努力を繰り返し重ねた結果、素晴らしい技術力を持ち、世界の人たちが誰でも憧れ、欲しくなるオートバイや自動車を作りました。しかし、そこで満足しないで、「何のために」その技術を使うのか、「人間」として最も大切なことは何か、自分に問いかけているのです。そして、「自分には経験もあり、お金も手に入れて、有名になった」と考えるのではなく、現在の自分が成功できたのは多くの人の愛情や支え、そして応援をもらい生きてきた、この感謝の気持ちを忘れてはいけない、と本田さんは考えたのです。

皆さんはこれから始まる高校生活の中で、学習や学校行事、部活動など学校生活を楽しく元気に過ごすために、この充実した生活を支えてくれている多くの人たちがいることに気づくと思います。家族、地域の方々、先生をはじめ学校で働く人たちなど、数えきれない人たちのお世話をいただくことで、実りある学校生活を過ごすことが出来るでしょう。さらに高校を卒業した後の、これから長い人生の中でも、多くの出会いがあります。その人たちから多くのことを学んでいきます。そのすべての人たちの小さな助けや親切、愛情の上に、私たちの生活があり自分がいます。このことに謙虚に感謝し、生きていくことが大切だと思います。この感謝の気持ちを大切にしていきましょう。

今、私が皆さんにお話したメッセージ「感謝の気持ち」を胸にした松が谷高校の新入生である皆さんが巻き起こす新しい風に期待しています。そのために皆さんには既に三月の入学準備会で私がお話した三つのCを是非実践してください。三つのC、覚えていますか？ Challenge、Continue、Createでしたね。

保護者の皆様には本校の教育方針を御理解いただきながら、学校との密接な連携をもとに教育活動を進めていきたいと願っています。私ども教職員一同は、お寄せいただいた大きな期待をしっかりと受け止め、全力で教育に当たる所存です。

それでは、新入生の皆さんが、ここ松が谷高校で高い志をもって、充実した高校生活を送り、大きく成長されることを祈念して式辞といたします

令和三年四月七日

東京都立松が谷高等学校長 博田 英明